

三条北ロータリークラブ週報

No. 16



フランチェスコ・アレツォ RI 会長

第 2560 地区：室賀信宏ガバナー

三条北 RC：羽賀一真会長

「よいことのために手を取りあおう」

～UNITE FOR GOOD～

「ロータリーで善の循環を」



「初心にかえって新しいことへの挑戦」

会長：羽賀一真 幹事：森 宏 S A A：斎藤孝之輔

●例会日：火曜日 12:30~13:30 ●例会場：三条ロイヤルホテル TEL 0256-34-8111

- ◆本日の行事：「室賀信宏ガバナー公式訪問」
- ◆本日の出席：46名中28名
- ◆先々回の出席率：46名中35名 76.09%
(前年同期 69.81%)

◆本日のゲスト：

国際ロータリー第 2560 地区
ガバナー 室賀 信宏 様 (白根 RC)
ガバナー補佐 青柳 修次 様 (燕 RC)
地区幹事 関根 功雄 様 (白根 RC)

◆本日のオブザーバー：

米山記念奨学生
ペレス エレラ, アンドレア さん

* 本日の配布書類等

- ・台北国際大会のご案内
- ・月信 11月号(閲覧)・週報 No.1816(HP)

◆本日の記帳(敬称略)：

三条 RC 斎藤弘文、五十嵐晋三、中村順一

中村和彦

三条南 RC 田代徳太郎、星野健司、峰島由紀子
吉田 RC 佐野靖夫

◆先週のメークアップ(敬称略)：

11/5 4RC 合同社会奉仕活動打合せ会 石黒隆夫
11/6 第4分区第3回会長幹事会

羽賀一真、森 宏

11/6 加茂 RC 渕岡 茂

11/8 高田 RC 創立 70 周年記念式典

羽賀一真、森 宏

11/8 米山記念奨学生学友会総会 石黒隆夫

野崎喜嗣、ペレス エレラ, アンドレア

11/9 4 RC 合同社会奉仕活動ポリオ街頭募金
羽賀一真、森 宏、石黒隆夫
福岡信行、吉川将人、大野信一

会長挨拶：羽賀一真 会長



みなさん、こんにちは。本日は室賀ガバナー公式訪問、ようこそお越しいただきありがとうございます。ガバナーと言いますと、我々にとっては雲の上の、恐れ多い、神様のような存在だと思っておりました。米山忠俊さんのおかげで我々にとってガバナーは、少しは身近な存在とはなりましたが、僕が学生の時からかわいがってくださっていた米山さんが、むしろ雲の上の神様のような存在になってしまったような気もします。

しかし、先日の高田 RC70 周年記念式典では、室賀ガバナーは、なんて人間味のある、温かいお方たなんだろう、と思ったエピソードがありますので、皆さんにお伝えしようと思います。記念式典の冒頭は、格式ばつた式辞や祝辞が続き、正直、我々も睡魔との戦い

でした(笑)。しかし、室賀ガバナーが壇上に立たれた途端に、我々は室賀ガバナーに一気に心を引き込まれたのです。室賀ガバナー「今日の祝辞の原稿を忘れてきてしまいました。式次第に自分の原稿も掲載されていません。昨日のお昼も何を食べたか忘れてしまいました。」ここで会場は大爆笑でした。室賀ガバナー「しかし、原稿なしだからこそ、私の心からの言葉です。高田 RC でお世話になったかたがたのことは決して忘れるることはできません。こんな私がこうしてガバナーになった姿を、ぜひお世話になったあのかた(ご逝去されたパストガバナー)を見てほしかった。」と、会場の参加者全員の胸を打つ素晴らしい祝辞を述べられたのです。会場は万雷の拍手でした。原稿なしでまっすぐ前をご覧になって心からの祝辞を述べられた室賀ガバナーに、我々も感動いたしました。僕も会長あいさ



よいこと
のために
手取りあおう

事務局：三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内

Tel 0256-35-7160 / Fax 0256-35-7488 HP : <https://www.sanjo-nrc.org>



つは原稿なしではまだまだできません。室賀ガバナーのように人々の心を打つようなお話が少しでもできるよう、わずかでもお近づきになればと思います。

そして青柳修次ガバナー補佐、先週の事前訪問では適切なご指導、誠にありがとうございました。当クラブの長所も的確にご指摘いただき光栄に存じます。また、当クラブの財政難についての厳しいご指摘(会費が高いのに財政難はあり得ない)をいただきました。当クラブが伝統的に支出してきた項目もあるので、これらについて思い切って見直しをかけるべきか、非常に悩ましいところですが、なんとかクラブ運営についての財政立て直しに努めて参りたいと思います。

また、先日の第4分区会長幹事会では、青柳ガバ

ナー補佐の会社で行なったのですが、青芳さんは金属洋食器が本業でいらっしゃいますが、副業として木工業も手掛けられ、会社にサウナ施設を建設中とのことで、見せてもらいました！水着着用の混浴サウナとのことで、燕RC会長、三条南RC会長、加茂RCの女性幹事と直前会長と一緒に、残念ながら着衣のままでが建設中のサウナに入らせてもらいました(笑)。弥彦山と夕日が展望できる素晴らしいサウナです。僕は決して青芳さんの宣伝部長でも回し者でもありませんが、みなさん、もしよろしければ青芳さんのサウナに入りに行きましょう！完全予約制、最寄り駅は栗生津駅から歩くと大変な場所にあります(笑)！



幹事報告：森 宏 幹事



- ・室賀ガバナーより、「公式訪問 御礼」
- ・地区インタークト委員長より、「インタークト年次大会報告書について」
- ・三条 RAC より、「11月第二例会のご案内」

日時：11月20日(木)19:30～21:00

会場：三条・燕地域リサーチコア4F

ロータリー財団 BOX

11月11日現在累計

198,000円

米山奨学 BOX

11月11日現在累計

184,200円

ロータリー財団 BOX と米山奨学 BOX はガバナー公式訪問を記念して BOX を回し、たくさんご協力いただきました。

スマイル BOX

11月11日現在累計

436,000円

室賀信宏ガバナーより、ご協力いただきました。

第4分区AG 青柳修次様 本日は宜しく御願い致します。

米山 忠俊 君 公式訪問、室賀ガバナーを心から歓迎申し上げ。

外山 晴一 君 室賀ガバナー様、宜しくご指導下さい。

石川 友意 君 室賀ガバナー様、青柳ガバナー補佐様、関根地区幹事様を歓迎して!!

長谷川千佳 君 室賀ガバナーようこそ北ロータリークラブに、青柳様、関根様有り難うございます。羽賀会長、武田前会長、先日は業界のフロアホッケーボランティア参加して頂き有り難うございました。伊藤会員の立ち上げた障害者との交流体験や我が家のか長女や息子と遊んで頂き感謝です。ありがとうございました。

羽賀 一真 君 室賀信宏ガバナー公式訪問を歓迎して。

石川 一昭 君 本日のガバナー訪問、室賀ガバナーようこそ、北ロータリークラブへ。ご指導よろしくお願ひ致します。

森 宏 君 日曜日、三条マルシェのポリオプラスに参加。余ったお弁当14個を全て買い、病院へ持って行ったら、夜勤の職員に喜ばれました。

佐藤 義英 君 室賀ガバナーを歓迎して、BOXに協力!!

渋谷 義徳 君 室賀ガバナー公式訪問に感謝して。

野崎 喜嗣 君 室賀ガバナー、青柳ガバナー補佐、関根地区幹事を歓迎して。

落合 益夫 君 室賀ガバナーご指導よろしくお願ひします。

外山 裕一 君 BOXに協力。

星野 義男 君 ガバナー公式訪問歓迎します。

渕岡 茂 君 室賀ガバナー、青柳ガバナー補佐、関根地区幹事、御指導の程、宜しくお願ひします。

石黒 隆夫 君 室賀ガバナー、青柳ガバナー補佐、関根地区幹事、本日はガバナー公式訪問誠にありがとうございます。ご指導のよろしくお願ひ致します。

松山 浩仁 君 室賀ガバナーを歓迎して。

田崎 尚志 君 ご協力ありがとうございます。



本日の行事：「室賀信宏ガバナー公式訪問」



「ガバナー講話」

国際ロータリー第 2560 地区 ガバナー 室賀 信宏 様（白根 RC）

本日はよろしくお願ひいたします。まずは、10月25日26日に行われました地区大会のお札を申し上げます。米山パストガバナーからはエイドという大役をお引き受けいただき大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

私は 1958 年東京都大田区蒲田生まれで、33 歳の時に父の会社の月潟村工場開設に伴い新潟にきました。1999 年にロータリークラブに入会しました。1999～2000 年度当時、2560 地区は群馬と新潟を合わせた地区で、RI 会長はイタリア出身のカルロ・ラビッツア氏でした。本年度も RI 会長はイタリアのフランチェスコ・アレッツオ会長です。偶然にも私の入会時と同じイタリア人が RI 会長となりました。

今年は RI にとって異例の年でした。2月にフロリダの国際協議会で会ったマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトが 6 月に辞任、さらに 8 月、会長エレクトのユ・サング氏も健康上の理由で辞任され、その後 9 月に逝去されました。100 年に 1 度のことが 2 回起こりました。

2025-26 年度 アレッツオ会長のメッセージ よいことのために手を取り合おう (Unite for Good)

今まで RI 会長テーマとして年度のロゴと一緒に発表されていましたが、「メッセージ」に変わり、年度のロゴは廃止されました。メッセージは RI 理事会承認で決定されます。

これは、シンプルかつ簡潔で、インパクトをもつ力強い言葉です。ロータリーでは、日々のあらゆる奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題への取り組みの裏に、二つのこと、すなわち「友情」と「信頼」があります。



RI が掲げる 3 つの重点項目は次の通りです。

つながりを広げる - 会員のニーズに応える充実した体験がクラブができるようにすることが何よりも重要です。これは、クラブが新しい人たちを温かく迎え入れ、柔軟になり、新しいアイデアにオープンになることを意味します。また、地域社会のニーズに敏感に対応することも意味します。

地域社会が何を必要としているかを知り、地域のリーダーと協力してぜひそれを実現してください。ロータリーでは、地元でのつながりを築くことが、世界的なインパクトを高めることになります。

対話と協力を育む - よいことのために手を取りあれば、世界だけでなく、私たち自身の中にも持続的な変化を生み出すことができます。大切なのは、互いに寄り添い、熱心に耳を傾け、友情を育むことです。私たちは、思いやりのあるコミュニティを築きます。また、互いを支え合うことで、私たち自身の成長にもつながります。

今年度にロータリーでどのような文化や体験をつくりたいかを話し合い、クラブで積極的参加を促進するための新しいアイデアや創造的な方法をぜひ試してみてください。

ロータリーと共にポリオをなくそう - 世界の 1988 年以来、ポリオによって麻痺を患う子どもの数は 99.9% 減少しました。これは、近代史上最も成功した保健キャンペーンの一つであり、ロータリー会員が草の根の力を結集すれば永続的な変化が生み出せることの最良の例です。ここで歩みを止めることなく、世界の子どもたちとの約束を守らなければなりません。

今日、私たちは新たな課題に直面していますが、力を合わせればポリオの根絶は可能です。この目標を達成するためにロータリー会員とパートナー団体が共に取り組んだことは、必ずや歴史に刻まれるでしょう。



「ロータリーで善の循環を」

我々国際ロータリー第 2660 地区の目標という形で、私は「ロータリーで善の循環を」という言葉をあげさせていただきました。クラブで行うロータリー活動は「善」であります。その善を地域、日本、世界へと広げ、影響された人達がロータリーの歯車のようにぐるぐる循環することを願っています。

R I 会長スピーチの「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です」とおりロータリーの根本はクラブメンバー一人一人の心の中にある、各クラブが、より大きなインパクトをもたらすプロジェクトを達成されることを、祈念しております。

「インパクト」とは活動によって生じる測定可能な変化です。数値で効果を確認することが重要です。戦略的な行動計画を立て、全員が共有して進むことが求められます。

◆本年度は 3-Year Rolling Goals の 2 年目に当たります。ロータリー行動計画、クラブの戦略計画の作成をさらに浸透させることが重要です。

◆公共イメージの向上も長年の課題です。日本ではロータリー認知度は 4 割程度と低い一方、台湾では 9 割が知っています。広報活動や地域貢献を通じ、存在を広く伝えることが必要です。

◆ロータリーファミリー（米山奨学生・インター アクト・青少年交換など）のすそ野を広げること、そしてパートナーシップを広げることは、ロータリーの拡大を意味します。各関係団体と手を取りあい、奉仕活動を展開していきましょう。

【数値目標】

1. 会員増強 純増 +5% 以上
2. ロータリー財団年次基金への寄付
1 人 150 ドル × 会員数
3. ポリオプラス基金への寄付
1 人 30 ドル × 会員数
4. 年次基金およびポリオプラス基金
ゼロクラブゼロの達成
5. 恒久基金への寄付 ベネファクター新規認証者
1,000 ドル以上 × 10 名以上
6. ポール・ハリス・フェロー 新規累計額
1,000 ドル以上 × 1 クラブ 1 名以上
7. ポール・ハリス・ソサエティー
新規認定者 10 名以上
8. ポリオ・プラス・ソサエティー
新規認定者 1 クラブ 1 名以上
9. 米山記念奨学金寄付（普通特別寄付合計）
1 人 ¥20,000- × 会員数
10. 台北国際大会の地区内参加者 200 名以上

さらに、日本 34 地区とウクライナ地区が結んだ「ICC (インターナショナル・コーディネーティング・コミッティ)」協定により、ウクライナ支援にも取り組みます。これは金銭的負担を伴わず、友情と連帯を示すための協定です。クラブ単位でのグローバル補助金の利用は難しいですが、ICC を結ぶことにより、そういった情報が入りやすく皆さんへの提案もしやすくなります。また皆さんからの提案を ICC を通してウクライナへお伝えすることもできます。

国際共同委員会 (ICC: Intercountry Committee) の設立に向けて

設立趣旨説明 :

日本の地区全体でウクライナの精神的支柱になる

2 国間の国際奉仕活動は、従来は地区グローバル補助金を使い実施されてきました。

今、ウクライナを支援したいと考えた場合、従来の方式でも当然可能です。

しかし…ロシア侵攻はいつか終わるでしょう。

ただ、問題はその後です。ウクライナ国民が自国内で普通の健康的な生活を送れるようになるには、荒廃した国土、産業、経済の立て直しが必要です。それには 10 年、20 年という長い月日が必要になるのではないでしょうか。

我々にできることは、国家レベルの支援と比べれば、本当に小さなことかもしれません。ただ、ロータリーの支援は国家による支援より、現地のニーズに合わせたニッチな部分にも焦点を当てることが可能です。

日本全体のロータリアンが国際共同委員会という形で、ウクライナの復興を真摯に考えているという姿勢が、ウクライナのロータリアンだけでなく、ウクライナ国民の精神的支えになるものと信じます。混迷、混乱の中で一番必要なのは、精神的支柱ではないでしょうか。日本全体の地区が一緒に行動を起こす。そこに今回の国際共同委員会の設立の大きな意味があります。

最後に、クラブの主体性を尊重しつつ、第 1 分区～第 4 分区（グループ）の体制の見直し本年から始めたいと思います。おそらく 2 年、3 年、4 年とかかるかもしれません。富山さん、森田さんと話し合って解決していきたいと考えております。

以上を持ちまして私の講話とさせていただきます。本日はありがとうございました。



「クラブ協議会 フォローアップ」

第 2560 地区 第 4 分区ガバナー補佐 青柳 修次 様 (燕 RC)

質疑応答

■ 質問：「ウクライナだけを支援するのは偏りではないか。ロシアや他国への人道支援との整合性は？」

室賀ガバナー回答：

ICC 協定は政治的な立場を取るものではなく、人道支援の連携を目的とした枠組みです。ウクライナやロシア、どの国に対しても、会員やクラブが独自に人道的活動を行うことを妨げません。ロータリーは常に政治的中立を守り、苦しむ人々を支援する立場にあります。ポリオ撲滅のためにパキスタンやアフガニスタン両国で活動しているのと同様に、支援の対象は国ではなく「人」です。

■ 質問：「ライオンズクラブの方が一般に知られている印象がある。ロータリーの認知度を高めるには？」

室賀ガバナー回答：

何%ライオンズが高いといったことはわかりませんが、「We Serve」「I Save」の違いなど言われますが、私の入会の頃は一般の人に自分達のしたことはひけらかす様なことはしてはいけないといった風潮がありました。一方、ライオンズは献血や募金活動などを通じて知名度を上げてきた様に認識しています。

現在のロータリーは、公共イメージの向上を重点項目としています。ブランドリソースを非常に大事にしています。

■ 質問：「ロータリーの魅力は？」

室賀ガバナー回答：

私にとってロータリーの最大の魅力は、世界中に信頼できる友人ができることです。ビジネスや社会的立場を超えて友情と信頼を築ける組織はほとんどありません。ロータリーはそれを可能にする世界的ネットワークです。私にとってのロータリーの魅力は「世界中に友人ができる。」です。

■ 感想：ポリオ街頭募金活動について

先日、三条マルシェでポリオ撲滅の街頭募金活動を行いました。子供たちに風船を配りつつ行う中で、お母さん方が関心を持ってくださいました。地区大会で尾身先生の記念講演をお聴きしたこともあり、もう少しで世界中からポリオがなくなり、そうすると子供たちも予防接種の必要がなくなり、自治体予算も必要ななくなるという事を話したら、すごく納得してくださいました。寒い中の街頭活動でしたが、気持ちよく一日を過ごすことができました。

■ 質問：「なぜロータリアンですか？」

室賀ガバナー回答：

40歳で JC を卒業後、先輩宅に誘われて楽しくお酒を飲みました。翌日、先輩に入会申込書を持ってこられ名前を書くように言われました。

入会後、3回続けて例会を休んだら先輩が来て、毎回迎えに来ると言われ、その後ずるずると入っている様な感じです（笑）

■ 質問：「女性会員の理想的な割合は？」

室賀ガバナー回答：

RI では女性会員比率 30%以上を推奨しています。台湾や韓国では女性だけのクラブがあります。家族ぐるみでロータリーを楽しみ、その内、奥さん同士でクラブを作る、そんなきっかけで女性だけのクラブができたそうです。

■ 質問：「人口減少が進む中で、クラブの統合等はどうお考えですか？」

室賀ガバナー回答：

今後 10 年後、20 年後はどうだという事は考えていませんが、現状の分区の差、11 クラブの分区と 5 クラブの分区の差は、見直しが必要という事が当面の課題です。

RI 定款ではクラブ合併の手続きはなく、「二つのクラブを終結し新たなクラブを作る」「一方を残して、他方は終結する」という手続きになります。

■ 質問：「会長や幹事になったらどう学べば良いですか？」

室賀ガバナー回答：

会長・幹事・会計の方は、まずマイロータリーのアカウント登録が必須です。マイロータリーの「ラーニングセンター」にある「会長のためのラーニングコース」と、RI 発行の『手続要覧』を読むことが大事であります。読んでるうちに「うちのクラブはしていない」と感じることもあると思います。

■ 質問：「会員の負担感という点で、新しい活動が増えることに対し、従来の活動の見直しについて」

室賀ガバナー回答：

伝統的に続く活動でも、「インパクト」が重要であります。数値的に検証できること、どのくらいの人にベネフィットを与えていたか、対費用効果を検討し見直すべきです。どういった効果的な継続事業をするのか毎年戦略計画を立て、会長・エレクト・ノミニーが中心になって話す、奉仕活動にもそういったことが大事であります。



国際ロータリー第 2560 地区 室賀信宏ガバナー公式訪問
2025 年 11 月 11 日 於 三条ロイヤルホテル



「三条市内 4 RC 合同社会奉仕活動 ポリオプラス街頭募金活動」

11 月 9 日(日) 三条マルシェ

